

令和6年度 松戸市立小金中学校 学習の指針(シラバス)

教科	美術	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 造形的な視点を理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求することができるようにする。
- 豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
- 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	暮らしに生きる美術(オリエンテーション) 自分と向き合う(絵) 祈りの造形、仏像の美(鑑賞) パッケージで魅力を伝える(デザイン) ルネサンス、人間の発見(鑑賞)	生活や社会の中で生かす美術の働きについて考える。 素材の性質を理解し、自分らしさを表す方法を工夫する。 仏像に興味をもち、主体的に鑑賞する。 機能的で美しいパッケージデザインを考える。 ルネサンスの美術に興味をもち、主体的に鑑賞する。
2 学期	本の形で表現しよう。(デザイン) 木でつくる遊びの形(工芸) 生活に生きる伝統工芸品(鑑賞)	伝えたい内容に合わせた本のデザインを考える。 使う目的や用途から発想し、安全で楽しく遊べる作品を考える。 伝統工芸のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方を広げる。
3 学期	想像の世界を表す(彫刻) 水墨画の世界(絵) 美術で世界と向き合う(鑑賞)	想像の世界を表現することに関心をもち、主体的に取り組む。 墨の性質を理解し、効果的な表現方法を工夫する。 世界に働きかける美術に関心をもち、主体的に鑑賞する。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していくことができる。	

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組む。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加する。自他の作品や物は大切に扱う。後片付けまで誠実に。
3. 授業で使う道具…鉛筆(H、HB、2B、4B)、クロッキー帳、水彩色鉛筆、水彩絵の具、タブレット、そのほか各自の制作に必要なと思われるもの。
4. 授業中の少人数学習…題材によって3人から4人のグループで行うことあり。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを5～10分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけよう。また、タブレットを用いて、コマ撮りアニメなどにもチャレンジしてみよう。可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録していこう。